



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月26日

上場会社名 フィードフォースグループ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7068 URL <https://www.feedforcegroup.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 塚田 耕司
問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員グループ担当 (氏名) 西山 真吾 TEL 03 (6732) 5488
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	3,603	12.1	1,581	23.9	1,430	26.6	1,414	32.0	1,035	46.3
2025年5月期第3四半期	3,213	2.6	1,275	22.9	1,130	27.6	1,071	26.0	707	150.8

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 1,035百万円 (46.4%) 2025年5月期第3四半期 707百万円 (151.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	42.46	42.15
2025年5月期第3四半期	27.88	27.55

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額 (販売費及び一般管理費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	7,866	3,333	41.1
2025年5月期	7,653	3,321	42.0

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 3,236百万円 2025年5月期 3,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年5月期	—	5.00	—	—	—
2026年5月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,081	16.2	2,279	27.4	2,052	28.9	2,026	32.7	1,452	44.9	59.27

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額（販売費及び一般管理費）

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期3Q	23,867,258株	2025年5月期	25,033,858株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	一株	2025年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年5月期3Q	24,375,244株	2025年5月期3Q	25,372,121株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業領域である国内インターネット広告市場の2025年の市場規模は、社会の動画広告需要の高まりを背景に堅調に伸長し、前年比10.8%増の4兆円と過去最高を更新しました。総広告費における構成比は50.2%と初めて過半数に達し、広告市場全体の成長をけん引しております（出典：株式会社電通「2025年日本の広告費」）。また、消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場は、経済産業省による2024年の調査「令和6年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、国内のBtoC-EC市場の市場規模は前年比で1.3兆円、5.1%増の26.1兆円と引き続き拡大しています。物販系分野のBtoC-EC市場規模については、伸び率はやや鈍化したものの、2024年は前年比3.7%増の15.2兆円となり拡大基調が続いております。また、EC化率（全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合）も前年比0.4ポイント増の9.8%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

当社グループは「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、「プロフェッショナルサービス事業」、「SaaS事業」、「DX事業」の3セグメントにおいて事業を展開しております。セグメント間のシナジー効果を発揮する組織体制は当社グループの最大の強みであり、それに加えて、収益性・安定性・成長性において異なる特性を有しているため、利益を拡大しつつ成長投資を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、プロフェッショナルサービス事業における安定的な運用体制の構築および組織基盤の強化を進めるとともに、SaaS事業においては、機能強化を推進し、継続的な成長を支えるプロダクト基盤の強化に取り組みました。また、DX事業においては、連結子会社である株式会社フィードフォースの「Omni Hub」事業を、同じく連結子会社である株式会社リワイアへ承継し、DX事業へ集約しました。これらにより、既存収益の柱を強化するとともに、エンタープライズ案件の拡大、新市場への展開、新サービスの開発を加速させ、持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、下表のとおりとなりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2025年5月期 第3四半期 (累計)	2026年5月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	3,213	3,603	390	12.1
EBITDA	1,275	1,581	305	23.9
営業利益	1,130	1,430	300	26.6
経常利益	1,071	1,414	342	32.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	707	1,035	327	46.3

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額（販売費及び一般管理費）

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<セグメント区分について>

セグメント名	所属サービス、所属カンパニー	詳細
プロフェッショナルサービス事業	「Anagrams」アナグラム(株) 「DF PLUS」(株)フィードフォース	デジタルマーケティングサービス (広告マーケティング支援、インターネット広告運用代行、データフィード構築運用)
SaaS事業	「ソーシャルPLUS」(株)ソーシャルPLUS 「CRM PLUS on LINE」(株)ソーシャルPLUS 「dfplus.io」(株)フィードフォース	サブスクリプション型ツール提供サービス (ソーシャルログイン・メッセージ配信ツール、データフィード管理ツール)
DX事業	「Omni Hub」(株)リワイア 「どこбой」(株)リワイア 「App Unity Xross ID&IDP」(株)リワイア 「Shippinno」シッピーノ(株)	EC事業支援サービス (Shopifyアプリ開発、EC構築支援サービス、IDソリューション、ECの出荷・受注業務自動化ツール)

<セグメント別業績>

(単位：百万円)

		2025年5月期 第3四半期 (累計)	2026年5月期 第3四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
プロフェッショナル サービス事業	売上高	1,906	2,218	311	16.3
	営業損益	780	955	174	22.4
SaaS事業	売上高	938	1,010	72	7.8
	営業損益	360	396	36	10.2
DX事業	売上高	368	375	6	1.7
	営業損益	△10	78	89	—
合計	売上高	3,213	3,603	390	12.1
	営業損益	1,130	1,430	300	26.6

<プロフェッショナルサービス事業>

プロフェッショナルサービス事業では、エンタープライズを中心とした企業に対し、運用型広告代行及びデータフィードマーケティング等のデジタルマーケティング支援を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、既存顧客の売上拡大及び新規顧客の獲得に注力した結果、前第3四半期連結累計期間と比較し、増収増益となりました。

<SaaS事業>

SaaS事業では、エンタープライズからSMBまで幅広い企業に対し、セルフサービスで高度なマーケティングが実施できるツールとして、データフィード管理やソーシャルログインシステム等をSaaSにより提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、Shopifyアプリ「CRM PLUS on LINE」を中心としたサービス需要が引き続き堅調に推移し、既存顧客からの受注拡大および新規顧客の獲得が進んだ結果、前第3四半期連結累計期間と比較し、増収増益となりました。なお、市場環境の変化を総合的に判断した結果「EC Booster」につきましては第2四半期連結会計期間中にサービスを終了しております。

<DX事業>

DX事業では、主にEC事業者を対象としてShopifyによるサイト構築やShopifyアプリ、IDソリューションなどの開発・提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、「Omni Hub」「どこポイ」をはじめとしたShopifyアプリや、IDソリューション（「App Unity Xross ID」および「App Unity IDP」）、並びにEC構築支援サービスにおける顧客獲得が引き続き順調に推移しました。前連結会計年度において不採算事業の縮小を行った影響が継続しているものの、採算性の向上が進んだ結果、前第3四半期連結累計期間と比較し増収となり、営業損益は黒字転換となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、6,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円増加いたしました。これは主に売掛金が541百万円増加した一方、現金及び預金が258百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産合計は、1,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円減少いたしました。これは主に顧客関連資産が82百万円減少した一方、繰延税金資産が56百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債合計は、3,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円増加いたしました。これは主に買掛金が313百万円増加した一方で、未払法人税が140百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債合計は、1,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは繰延税金負債が9百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が631百万円増加した一方、資本剰余金が574百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月17日付「2026年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,233	3,975
売掛金	1,734	2,275
前渡金	414	357
その他	58	92
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	6,425	6,681
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36	43
その他（純額）	31	34
有形固定資産合計	68	77
無形固定資産		
のれん	216	180
顧客関連資産	501	419
その他	6	5
無形固定資産合計	723	605
投資その他の資産		
投資有価証券	0	20
繰延税金資産	276	332
その他	159	149
投資その他の資産合計	435	502
固定資産合計	1,228	1,185
資産合計	7,653	7,866
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,323	1,636
短期借入金	1,200	1,300
未払法人税等	334	194
賞与引当金	80	41
その他	256	232
流動負債合計	3,194	3,405
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
繰延税金負債	136	127
固定負債合計	1,136	1,127
負債合計	4,331	4,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	61	27
資本剰余金	574	—
利益剰余金	2,581	3,212
株主資本合計	3,217	3,240
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3	△3
新株予約権	108	96
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,321	3,333
負債純資産合計	7,653	7,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	3,213	3,603
売上原価	928	1,050
売上総利益	2,284	2,553
販売費及び一般管理費	1,154	1,122
営業利益	1,130	1,430
営業外収益		
受取利息	1	7
受取配当金	0	0
助成金収入	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	3	8
営業外費用		
支払利息	17	20
支払手数料	22	4
持分法による投資損失	22	—
その他	0	0
営業外費用合計	62	25
経常利益	1,071	1,414
特別利益		
新株予約権戻入益	8	28
特別利益合計	8	28
特別損失		
固定資産売却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	1,078	1,441
法人税、住民税及び事業税	423	473
法人税等調整額	△51	△66
法人税等合計	371	406
四半期純利益	707	1,035
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	707	1,035

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年6月1日 至 2026年2月28日）
四半期純利益	707	1,035
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	707	1,035
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	707	1,035
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会において、会社法第165条の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式724,700株の取得を行いました。

また、2025年12月25日開催の取締役会において、会社法第165条の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式615,400株の取得を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が800百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、自己株式724,700株の消却を行いました。

また、2025年12月25日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、自己株式615,400株の消却を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が800百万円、自己株式が800百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	110百万円	115百万円
のれんの償却額	35	35

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッ ショナルサー ビス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,906	938	368	3,213	—	3,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13	9	23	△23	—
計	1,906	951	378	3,236	△23	3,213
セグメント利益又は損失 (△)	780	360	△10	1,130	—	1,130

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2026年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッ ショナルサー ビス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,218	1,010	375	3,603	—	3,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13	3	16	△16	—
計	2,218	1,024	378	3,620	△16	3,603
セグメント利益	955	396	78	1,430	—	1,430

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。